
ボクの愛しい凜へ...。（ときの流れの中で...。スピン・オフ ワタルの気持ち）

alice

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ボクの愛しい凜へ…。(ときの流れの中で…。スピン・オフワタルの気持ち)

【Nコード】

N9979Z

【作者名】

alice

【あらすじ】

ミコちゃんシリーズで少し触れたワタル君と凜ちゃんのつながり。そしてワタル君が生まれ変わった凜ちゃんの運命を案じてその修正のためにかけた物語です。彼が生まれ変わっても妹のことを想っていた、ときの流れの連続性を描いていきます。

第一話 ボクと凜

昭和20年

ボクがまだ幼い頃、日本と中国との間に戦争が起こった。

この戦争はずいぶん長い間続いている。

そしてとうとう昭和16年にはアメリカまで敵にしまった。

最初の頃は日本が勝っている威勢のいい話を良く聞いていたけど、そのうちどうも様子がおかしいことを感じてきた。

毎日ラジオから流れてくるニュースでは、アメリカの軍艦を何隻沈めたとかそういうことを言ってるけど、そのわりにはアメリカの飛行機が日本本土にまでやってきてたびたび空襲がある。

怖い憲兵たちがいるからみんな何も言わないけど、うちのお父ちゃんやお母ちゃんや近所の金物屋のおじちゃんたちは「もうそろそろ危ないかも…」。なんて話をしている。

ボクは小倉 おぐら 渡 わたる。

渡という名前は両親が世界の国の人たちと心が渡り合える人間になつて欲しいと付けたそうだ。

そしてボクには2つ年下の妹がいる。

凜という名前で、女の子にしては少しヤンチャだけど、心が優しく可愛くて、ボクにとってはかけがえのない大切な妹だ。

日本人にしては少し茶色がかった亜麻色の髪の毛。

そしてクリッとした少し悪戯そうな大きな目。

彼女はボクが学校から帰ってくると

「ワタル兄ちゃん、遊ぼう！」

と言って待ち構えている。

「よし、じゃあ米突き100回ずつやったらカルタしようか。」
「ウン！」

この頃には日本の食糧事情はとても悪くなっていて、お店に行っても物が無い時代になっていた。

日常の食料のほとんどは配給制で、最初の頃はそれなりに食べられていたけど、そのうちさつま芋ではなくその茎だったり、砂糖がサツカリンという代用品に代わったり。

たまに米の配給があっても量はほんの少しでしかも玄米のまま。だからそれぞれの家では、この玄米をお酒の一升瓶に入れて突き精米する。

そして、こうして精米した米もそのまま炊くわけではなく、そのうちのほんの少しを鍋に入れて他の野菜で力サを増やし雑炊にして食べることになる。

ボクはともかく育ち盛りの凜にとってはとても辛いものだろうと思う。

1945年（昭和20年）が明けた頃。

巷ではある噂が流れ始めていた。

「どうも、そろそろ戦争が終わるらしい。」

どこが出元かわからない根拠のない噂だったけど、それはどこにも不思議な信憑性を感じる話だった。

「もう海軍にはまともに戦える軍艦はないしなあ…。」
その姿を本当に見たことがあるわけではないけど、特攻隊と呼ばれる人たちがいて飛行機に乗ったまま爆弾を抱えて敵の軍艦に体当たりする人がいるらしい。
自分が必ず死ぬことがわかって出撃する。
なんて悲しいことなのだろう…。

ただ、大人たちはこんな話をするけど、ボくら子供たちは、日本には大和というものすごい戦艦がまだ残っているから絶対に負けないと信じきっていた。

それにしても最近空襲が本当に多い。

前はたびたびやってくるくらいで、それでも工場とかが狙われることがほとんどだったけど、最近では街の中にまで爆弾を落とすくる。

先月の終りには、うちから500mほど離れたところに爆弾が落ちて、20人くらいの人たちが亡くなったらしい。

そのため、ボクの家でも夜寝るときにはすぐに逃げられるように普段着を着たまま、防空頭巾とバッグを枕元に置いていた。

そして運命の3月10日はやってきた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9979z/>

ボクの愛しい凛へ...。（ときの流れの中で...。スピン・オフ ワタルの気持ち

2011年12月30日22時45分発行